

# JR大湊線活性化協議会（仮称） について

---

むつ市企画政策部企画調整課  
令和4年12月22日（木）

# 1. 協議会の設立について

## 【背景】

- ✓ JR大湊線は、下北・上北圏域において、通学・通勤・通院・買い物などの地域経済及び生活環境を支える公共交通機関として重要な役割を担っており、圏域内の主要なバス路線は鉄道を中心に運行ダイヤが設定されている。
- ✓ しかしながら、JR大湊線などのローカル線の利用者数は、モータリゼーションの進展や人口減少、少子高齢化等の影響により、年々、利用者数が減少している中で、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、全国的に厳しい状況が続いている。
- ✓ そのような中、令和4年7月25日、国土交通省の有識者検討会（第5回）では「地域の将来と利用者の視点に立ったローカル鉄道の在り方に関する提言」を公表。
- ✓ 同年7月28日、JR東日本が2019年度実績において平均通過人員が2,000人/日未満の線区を初めて公表。  
→「赤字路線＝廃止ではない」とする一方で、「持続可能な交通体系を建設的に議論するため」に公表。



- 上記の動きに対応するため、「JR大湊線活性化協議会（仮称）」を設立。
- 沿線自治体（むつ市・野辺地町・横浜町）が中心となり、路線の利用促進や各地域の活性化等の方策の検討・実施に取り組む体制を構築する。

## 2. 協議会の体制について

### 【協議会の体制】

- ✓ 沿線自治体及び周辺自治体の首長で組織する協議会のもとに、各自治体の担当課によるワーキングチームを設置。
- ✓ 事務局は、むつ市が担当。

#### ① JR大湊線活性化協議会（仮称）

##### 【開催頻度】

- ✓ 年1～2回程度

##### 【構成会員】

- ✓ 沿線自治体（むつ市、野辺地町、横浜町）の首長
- ✓ 周辺自治体（大間町、東通村、風間浦村、佐井村、東北町、七戸町、六ヶ所村）の首長

##### 【オブザーバー】

- ✓ JR東日本盛岡支社
- ✓ 青森県
- ✓ 東北運輸局

##### 【活動内容】

- ✓ 路線の利用状況や問題・課題点の共有
- ✓ 国、JR東日本、他路線の情報共有
- ✓ 取組方針の決定 等

① 方針

#### ② ワーキングチーム（WT）

##### 【開催頻度】

- ✓ 随時

##### 【構成メンバー】

- ✓ 沿線自治体（むつ市、野辺地町、横浜町）の担当課
- ✓ 周辺自治体（大間町、東通村、風間浦村、佐井村、東北町、七戸町、六ヶ所村）の担当課

##### 【オブザーバー】

- ✓ JR東日本盛岡支社の担当者
- ✓ 青森県の担当者
- ✓ 東北運輸局の担当者

##### 【活動内容】

- ✓ 路線の利用状況や問題・課題点を調査・研究
- ✓ 国、JR東日本、他路線の情報収集
- ✓ 利用促進・各地域の活性化策の検討・実施
- ✓ 問題・課題の解決策の検討・実施 等

② 報告

### 3. 今後の進め方について

- JR東日本、国、県等からの情報収集を行いながら、協議会、ワーキングチームの活動を進める。
- 青森県内初のモデルケースを目指し、令和4年12月22日（木）に設立総会を開催。

【スケジュール（予定）】

区分	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1～3	R5年度	R6年度	R7年度
① JR大湊線活性化協議会（仮称）			協議会設立 総会		・総会 ・報告会	・総会 ・報告会	・総会 ・報告会
② ワーキングチーム（WT）			協議会設立に併せてWT設置	随時開催	随時開催	随時開催	随時開催
③ 担当者打合せ	会議① 10/27	会議② 11/22					

※1 詳細なスケジュールについては、今後、関係機関等との調整により進める。

※2 検討状況によっては、予算措置（協議会負担金）を講じた施策等を実施。